スルピリド細粒

Sulpiride Fine Granules

溶出試験 本品の表示量に従いスルピリド($C_{15}H_{23}N_3O_4S$)約 0.2g に対応する量を精密に量り,試験液に薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1 2)900mL を用い,溶出試験法第 2 法により,毎分 50 回転で試験を行う.溶出試験を開始し,規定時間後,溶出液 20mL 以上をとり,孔径 0.5μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する.初めのろ液 10mL を除き,次のろ液 5mL を正確に量り,薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1 2)を加えて正確に 20mL とし,試料溶液とする.別にスルピリド標準品を 105 で 3 時間乾燥し,その約 0.028g を精密に量り,薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1 2)に溶かし,正確に 100mL とする.この液 5mL を正確に量り,薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1 2)を加えて正確に 25mL とし,標準溶液とする.試料溶液及び標準溶液につき,紫外可視吸光度測定法により試験を行い,波長 291nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する.

本品が溶出規格を満たすときは適合とする.

スルピリド(C₁₅H₂₃N₃O₄S)の表示量に対する溶出率(%)

$$= \frac{W_{\rm S}}{W_{\rm T}} \times \frac{A_{\rm T}}{A_{\rm S}} \times \frac{1}{C} \times 720$$

 $W_{\rm S}$: スルピリド標準品の量 $({
m mg})$ $W_{
m T}$: スルピリド細粒の秤取量 $({
m g})$

C: 1g 中のスルピリド(C₁₅H₂₃N₃O₄S)の表示量(mg)

溶出規格

表示量	規定時間	溶出率
100mg/g	45 分	80%以上
500mg/g	45 分	80%以上

スルピリドカプセル Sulpiride Capsules

溶出試験 本品 1 個をとり、試験液に薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1 2)900mL を用い、溶出試験法第 2 法(ただし、シンカーを用いる)により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験を開始し、規定時間後、溶出液 20mL 以上をとり、孔径 $0.5\mu m$ 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10mL を除き、次のろ液 VmL を正確に量り、表示量に従い 1mL 中にスルピリド($C_{15}H_{23}N_3O_4S$)約 $56\mu g$ を含む液となるように薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1 2)を加えて正確に V'mL とし、試料溶液とする。別にスルピリド標準品を 105 で 3 時間乾燥し、その約 0.028g を精密に量り、薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1 2)に溶かし、正確に 100mL とする。この液 5mL を正確に量り、薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1 2)に溶かし、正確に 100mL とする。この液 100mL を正確に 100mL とする。この液 100mL を正確に 100mL とする。この液 100mL を正確に 100mL とする。この液 100mL を正確に 100mL とする。試料溶液及び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長 100mL における吸光度 100mL を測定する。本品が溶出規格を満たすときは適合とする。

スルピリド(C₁₅H₂₃N₃O₄S)の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_{\rm S} \times \frac{A_{\rm T}}{A_{\rm S}} \times \frac{V'}{V} \times \frac{1}{C} \times 180$$

Ws:スルピリド標準品の量(mg)

C:1カプセル中のスルピリド($C_{15}H_{23}N_3O_4S$)の表示量(mg)

溶出規格

表示量	規定時間	溶出率
50mg	120分	75%以上